

報道機関各位

担 当 かんきょう課 温暖化防止担当 原口

TEL/FAX 0942-53-4120 / 0942-53-1589

E-MAIL kankyou@city.chikugo.lg.jp

PPA 方式による太陽光発電設備 チクロスに導入！

【北部交流センター側】



【防災倉庫側】



市は、LED S 株式会社と電力供給契約を結び、筑後市北部交流センター【チクロス】へ太陽光発電設備を導入します。

再生可能エネルギーの活用をはじめとする取り組みを推進し、脱炭素社会の実現を目指します。

- 名 称 筑後市北部交流センターへの PPA 方式による太陽光発電設備導入事業
- 日 時 令和 8 年 1 月工事完了。4 月供給開始予定。
- 場 所 筑後北部交流センター【チクロス】（筑後市大字蔵数 515 番地 1）
- 目 的 「筑後市ゼロカーボンシティ宣言」に基づき、PPA 方式により、チクロスへ太陽光発電設備及び蓄電池を導入します。
公共施設の温室効果ガス排出削減を図るとともに、災害時のエネルギー確保に取り組みます。
- 経 緯 令和 6 年 2 月策定の「筑後市地球温暖化対策実行計画」に基づき、再生可能エネルギーの最大限の導入を推進しています。
本事業は、自家消費型太陽光発電の普及と公共施設への設置方針を踏まえ、市が率先して取り組むものです。

令和 8 年 1 月 30 日

- 特 徴
- ①初期費用をかけずに、公共施設へ太陽光発電設備と蓄電池を導入
 - ②PPA 方式により、発電した電力を施設内で有効活用
 - ③平常時の温室効果ガス排出削減と、災害時の電力確保を両立
 - ④ゼロカーボンシティの実現に向けた先導的な取組
- その他
- PPA 方式とは、民間事業者が設置した太陽光発電設備で、発電した電力を市が使用量に応じて購入する仕組みです。
市は初期費用を負担することなく、再生可能エネルギーを導入できます。

※別紙、概要などに関して補足資料あり。

【補足資料】

筑後市北部交流センターへの PPA 方式による太陽光発電設備導入事業

①設備概要

太陽光発電設備容量：70.84kw

※太陽光パネル154枚【北部交流センター：90枚、防災倉庫64枚】

蓄電池設備：16.4kw

②事業費

事業費： 13,465,310円

LEDS(株)が補助金額：6,732,000円（補助率 1/2）を活用して設置

※令和7年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金を活用。

市の初期負担はなし

③年間発電量 約 77,510kwh

④自家消費量 約 34,280kwh = 電力使用の約40%を再生可能エネルギーでまかなう
→ CO2 排出量 年間約 31.5トン削減

⑤停電時の活用＝防災機能の強化

和室、大ホール、会議室の3箇所に非常用コンセントを設置

停電時には、太陽光発電と蓄電池により、必要最低限の電力を確保

利用想定としては、送風機・冷風機・携帯電話充電器・テレビ・ラジオ

【例】

送風機【フラミンゴファン】：10台同時稼働で約12時間

冷風機【スポットエアコン】：1台稼働で約15時間

⑥期待される効果（市民にとってのメリット）

（1）市が率先して脱炭素の取り組むことで、環境に配慮したまちづくりが進む。

（2）災害時の拠点機能の強化など、市民の安心に繋がる。

⑦今後について

今回の事業をモデルケースとして、効果や運用状況を検証しながら、他の公共施設への展開について検討していく。